

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



中央区

緑あふれる生涯学習拠点 「本の森ちゅうおう」

2022年12月に開館した「本の森ちゅうおう」は、京橋図書館と郷土資料館を併設した複合施設です。子どもから大人まで誰もが親しみをもって利用でき、歴史・文化を未来に伝える地域の生涯学習拠点となっています。

誰もが快適に過ごせる図書館

京橋図書館は、幼児から高齢者まで様々な年齢の方々、多様な価値観や趣味を持つ方、読書活動が困難な方、外国人など、あらゆる利用者に本を読む楽しさを味わってもらえるようにと、さまざまなジャンルの40万冊の資料を所蔵しています。

創設112年の歴史を誇る同図書館は、戦禍を免れ戦前の資料が3万4千冊と多く残っています。これらを含め6万7千冊もの中央区や東京都に関する歴史、文化、地域の資料を所蔵している地域資料室は、京橋図書館の一番の特徴であり伝統です。ほかにも、子ども目線で本を探ることができる子どもコーナーや、ティーンズを対象にした図書が揃うコーナーなど、フロア毎に特徴のあるコーナーを展開しています。

さらに、屋上庭園や仲間と会話しながら休憩できるつどいの森など都会にありながら緑を感じる空間や多目的ホール、カフェなど、心地よく過ごせる空間を提供することによって、人々が出会い、交流するというコンセプトを実現しています。

また、多目的ホールでは、子どもから大人まで誰でも楽しめる様々なイベントを開催しています。

文化財に触れる機会を提供

郷土資料館には、江戸以来400年以上にわたる中央区の歴史・文化が感じられる資料を所蔵しています。ハイビジョン映像や歴史年表などで伝える常設展示室と、テーマを決めて地域の歴史や美術館などと連動した展示をおこなう企画展示室があります。常設展や企画展などを通じて効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図るとともに、資料をデジタル化しICTを活用するなど、来館者が中央区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示を行っています。



↑ 中央区の歴史や文化の資料が数多く所蔵されている地域資料室。毎月の特集展示や、中央区にゆかりのある人物の資料などを特設コーナーで紹介しています。



↑ 子どもコーナーには、子ども向けの資料や絵本のほかに、バリアフリーの資料を集めた「りんごの棚」やSDGsに関する資料もあります。



↑ 都会の中で緑を感じられる屋上庭園では月1回、星空観望会を開催しています。



↑ 80名が入場可能なイベントや会議等を行える多目的ホールでは、著名人の講演会などを多数開催しています。



↑ 郷土資料館の常設展示室には、資料の実物展示に加え、ハイビジョン映像で見る中央区の成り立ちや歴史年表、7つのテーマ展示コーナー、絵巻ビジョンコーナーなどを設けています。

郷土資料館イベント

よみがえるまちの歴史 特別展「大八丁堀展」

会期 令和5年10月7日～12月17日

江戸時代から近現代までの八丁堀における歴史や風俗の変遷や与力・同心、出土遺物、人々のくらしなどを紹介し、八丁堀の魅力に迫ります。

本の森ちゅうおう(京橋図書館・郷土資料館)

所在地 中央区新富1-13-14
開館時間 月～土9:00～21:00(日祝～17:00)
休園日 第3木曜日、年末年始(12/31～1/2)、臨時休館あり
入館料 無料
アクセス 東京メトロ日比谷線・JR八丁堀駅より徒歩1分
お問合わせ 03-3551-2151(京橋図書館)
03-3551-2167(郷土資料館)

